

JAきたみらい

あけびま サクラダ

2017



迎春

vol.168

1

表紙の紹介は2ページをご覧ください



【東相内小学校の5年生（年男、年女）のみんなで記念撮影】

十二支の10番目

「酉」



2017年の干支は酉（とり）年。表す動物は「鶏（にわとり）」です。

「酉」という漢字は酒つぼの姿から成り立ち、「お酒」に関する字に使われてきました。収穫した作物から酒を抽出するという意味や、収穫できる状態であることから「実る」ということも表します。そのことから、果実が成熟した状態を表しているとされています。

また、鶏は新年で一番に鳴く鳥のため縁起が良いとされています。「とり」は「とりこむ」とも言われ、商売などで縁起の良い干支。鳥が飛び立つ様になぞらえ、発展、飛躍の年としたいものです。

おもちを食べて健康に

春の田植えから収穫、脱穀作業までを体験した東相内小学校の5年生は12月9日、保護者や関係者を呼んでお餅食事を開いた。

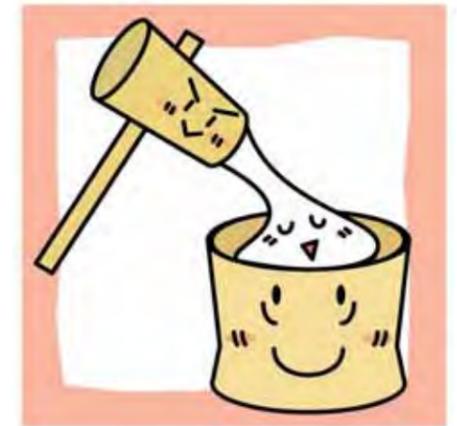
農作業に汗を流した分、お餅の美味しさを味わえる。昼食後には半年間のお米づくりや野菜づくりの様子を発表。みんなで観察して分かったこと、農作業で感じたことなどを振り返った。

長く伸びて切れないお餅の姿に、長寿を願掛けし、これからの一年を健康で過ごせますように。

（高田 陽介）



季節の薫り



▲農作業で感じたことを発表する児童たち



▲雑煮を頂く児童と関係者のみなさん

もくじ CONTENTS

○おひさまサラダクッキング 「柿とキュウリのサラダ」 「マグロのすき焼き」	○JAからのお知らせ	○お餅アレンジレシピ	特集 「私の夢と希望」	○年頭の「挨拶」	○季節の薫り
16	10	8	6	4	2

表紙紹介

初日の出

刺すような寒さに手がかじむ厳冬の朝、無加川の水面から、もうもうと湯気が上がる。日の出が上がり、暖かな光を感じているうちに、水蒸気は緩やかに流れていく。

無加川など常呂川水系は、豊かな自然に恵まれ、森林資源、動植物の分布も多岐にわたる。上水道の水源としてはもとより、農業、その他産業用水としての利用度が高く、また流域住民の憩いの場となる。

静かに流れる一級河川を望み、これから始まる一年の穏やかな天候と、出来秋を迎えられますよう、祈年。

（高田 陽介）



【某日午前7時3分 気温-15.8℃ 北見市内豊地大橋にて撮影】

強い信念と実行力で 課題を乗り越えていく



きたみらい農業協同組合
代表理事組合長
西川 孝 範

昨年は例をみない大雨災害 厳しい環境下での出来秋

明けましておめでとうございます。組合員の皆様を始め、ご家族の皆様には、健やかに平成29年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、皆様にはJAきたみらい事業運営に対し日頃より深いご理解とご協力を賜り、厚く感謝と御礼を申し上げます。

て平年作以上の収穫量を確保することができま

した。
厳しい環境下でありながら、このような出来秋を迎えることが出来たことについて、組合員皆様の長年にわたる生産基盤の整備と営農努力に敬意を表すとともに、関係機関のご指導・ご協力に対し、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

国内外の情勢変化 食料の需給事情は不安定

また、全農改革を始めとする農協改革並びに指定生乳生産者団体制度のあり方を含めた農業競争力強化プログラムの取り纏め、米国新大統領のTPP離脱・日米二国間交渉の表明、日欧EPA交渉の動きなど、我が国の農業・JAにとって先行き不透明感が増大する情勢変化があった一年でした。

農協改革については、その主要な目的である法改正と農業所得向上との関連性などの理解が十分に進まないなか、地域住民の生活にも影響を与えかねない准組合員制度のあり方などの重要案件について今後の検討課題となっております。

とりわけ、農家組合員が自主的に組織し運営する地域JAの事業運営に対し、クミカン制度の廃止など、過剰介入とも言える規制改革推進会議の提言は、これまでの組合員・JAの取り組みの成果を無視したものであり、消費地から遠く、専業農家の多い北海道農業への深刻な影響が懸念されます。

今年の干支は丁酉（ひのと）であり、丁は「安定する」という意味があり、酉は「果実などが成熟し実る状態」を表しております。今年はこの酉年にあやかり、天候に恵まれ実り多い安定した年になることを願うところでもあります。

さて、昨年を振り返りますと春先から天候も穏やかに推移し、各作物とも順調に生育しておりましたが、一部圃場では病害虫の発生により農耕を余儀なくされました。

TPPの発効については先行きが不透明ですが、日欧EPA交渉の動きを含め、国民との約束とも言える国会決議との整合性や、食の安全・安心などについても、国民の求めている十分かつ丁寧な国会審議を行ったとは言えず、農業者のみならず様々な分野の方々が、いまだ将来に対する大きな不安と不信を抱いていることから、これまで以上に十分かつ丁寧な説明を求めする必要があります。

世界規模での異常気象、人口増加、経済情勢の変化など国内外の情勢がめまぐるしく変化している昨今であり、国際的な食料の需給事情は常に不安定な状況となっております。

農業は、食料の安定供給という、国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割を担っており、国としても先を見据えたなかで食料自給率の確保などによる食料の安全保障体制をいかに確立していくかが問われております。

地域と共に 組合員の営農と生活を守る

市場のグローバル化が進むなか、地域に根差した協同組合の思想と実践が国際的にも認められ、「協同組合」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。農業・JAに対する幅広い理解と共感を得る取り組みを今後も積極的に進めながら、長年にわたり先人が築き上げてきたこのきたみらい地域の農業の基盤をさらに発展させ、次の世代に繋げていかなければなりません。

JAきたみらいとしては、その責任を果たすために今一度足元を見つめ直し、組合員の皆様

JAきたみらい気象情報モニタリングシステム（1日累計降雨量）【単位：mm】

日時	置戸	留辺蘂	訓子府	相内	上常呂	北見	端野	
8/15	9.4	10.8	25.8	15.0	34.6	10.8	30.2	
8/16	1.8	1.2	2.6	4.6	5.6	2.4	11.8	台風7号
8/17	108.4	92.4	55.0	71.8	58.8	100.4	37.4	
8/18	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
8/19	4.0	4.8	9.2	7.0	12.6	4.6	14.6	
8/20	100.4	88.4	71.8	102.0	73.8	46.8	66.2	停滞前線
8/21	26.4	21.8	34.4	32.4	37.8	35.8	38.0	台風11号
8/22	21.0	26.8	30.0	21.8	26.2	18.2	19.0	
8/23	19.4	16.2	14.8	9.6	15.4	12.6	12.6	台風9号
8/24	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
8/25	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
8/26	11.6	10.2	22.2	14.2	26.6	28.6	26.6	
8/27	0.0	0.2	0.2	0.2	1.4	0.4	0.2	
8/28	4.4	1.6	3.6	5.2	3.0	1.0	1.0	
8/29	24.4	12.4	6.2	10.0	7.2	13.2	11.2	台風10号
8/30	25.2	16.4	7.0	7.8	7.8	6.0	4.2	
8/31	14.2	7.0	0.8	0.8	0.4	1.2	0.6	
累計	370.6	310.4	283.6	302.4	311.2	282.0	273.6	

（注1）28.8大雨災害について
平成28年8月17日、お盆から降り始めた雨に加え、台風7号の接近に伴い午前から断続的に降った激しい雨により、無加川やその支線となる小河川の氾濫や用水路のオーバーフローが発生し、温根湯地区を中心に作物流亡・表土流出・土砂流入などの大きな被害が発生した。
20日からは、北海道に停滞する前線の影響を受けて降った大雨が、無加川に加えて常呂川、訓子府川やそれらの支流までを含めた広範囲での氾濫や、用水路のオーバーフローを発生させ、圃場被害のほか倉庫及びビニールハウスなどの被害が報告され、JAきたみらい全域に大きな被害をもたらした。この日の雨が今回の被害拡大の最大の要因であり、特に端野地区の常呂川流域では甚大な被害をもたらした。（常呂日吉地区堤防の一部決壊・氾濫と時期を同じくしている）

さらに21日には、台風11号が北海道に接近したものの釧路市付近に上陸したため当該地域は大きな影響を受けなかったが、その後の23日に北海道に上陸した台風9号の影響を受け、一部地域では集中豪雨による被害の発生が報告された。
また、台風10号が東北地方に上陸した影響で、30日夜半から31日未明にかけて常呂川・無加川上流地域で大雨となり、温根湯・端野地区ではこれまでの被害をさらに拡大させた。
この大雨災害は、8月に、しかも僅か2週間（8月17日～31日）の間に4つの台風が北海道に接近・上陸して影響を及ぼし、過去に例を見ない気象条件に前線の影響が絡んだことによって発生した。JAきたみらい農業災害史上記録に残るものとなった。
なお、この一連の台風等による被害は北海道各地にライフラインを含めて大きな爪痕を残している。

さらに、8月に当地区を襲った過去に例を見ない大雨災害（注1）により、農作物のみならず圃場や施設・機械にも甚大な被害が発生しました。その後の収穫時期にも長雨が続き、ピートや豆類、粗飼料の収量低下に悩まされるなど、収穫作業に大変苦慮した1年となりました。
国の激甚災害指定を受けるほど、その爪痕は依然として深く残っているところですが、消費者へ安全・安心な農畜産物を安定的に届けたいという組合員の皆様の懸命な努力もあり、総じ

方には、協同組合の意義、組合員の役割についてあらためて振り返り頂いたなかで、最大限の努力を傾注し、第4次農業振興方策並びに中期経営計画の達成に向け、機能の総力を結集し積極的に取り組むとともに、各種課題を乗り越えていくという強い信念と実行力が求められています。

地方創生が叫ばれているなかにおいて、農業・JAが地域振興で果たす役割はますます重要となってきました。そのような観点から、昨年11月には官民一体となった北見農産物輸出協議会が設立され、北見産玉葱の輸出を本格的に取り組むこととなりました。

また、JAグループでは、担い手が希望をもって営農できるよう生産費や労働時間を含め継続的に要請活動を展開してきましたが、その結果、12月には平成29年度の加工原料乳生産者補給金単価が1kg当り10・56円の高水準で決定し、関連対策である「酪農経営支援総合対策事業」等が拡充強化されました。

このような取り組みを含め、「地域がよくなるなければ、組合員一人ひとりが良くならない」という理念のもと「組合員の営農と生活を守る」ということを念頭に置き、役員一丸となりJA運営に取り組んでまいりますので、組合員の皆様方の更なるJAへの総結集をお願い致します。結びにあたり、組合員の皆様のご健康と災害がなく豊稔の出来秋を迎えられることを願い、さらなる飛躍の年になりますよう心よりお祈り申し上げます。



私の夢

と希望

今年の干支は酉年です。新春特集として「年男」「年女」のみなさんに「夢と希望」を語っていただきました。

今年は旅行に行きたい

今年も家族みんなが健康で笑って過ごせる1年にしたいです。

昨年は旅行に行けなかったので、できれば今年は行きたいです。

相内地区・豊田
よしむらまさこ
吉村真佐子さん
(1957年/昭和32年
生まれ)



笑顔がたえない生活を

農業経営では安定した収量、高品質でおいしいものを育てたいです。

家族みんなが健康で過ごすことが営農にも関わるので、笑顔がたえない生活を送りたいです。

北見地区・美里
さとうまさこ
佐藤 正人さん
(1981年/昭和56年
生まれ)



バレーで全道大会に!

わたしは少年団でバレーをしています。新チームで出場した新人大会では、地区で1位になりました。このままの勢いで今年は全道大会に出ることが目標です。そのために、ケガなく練習を頑張りたいです!

訓子府地区・柏丘
まきしまあんり
牧嶋 杏莉さん
(2005年/平成17年
生まれ)



あいさつを自分からする

再来年度から瑞穂の小中学校が留辺蘂と一緒にになるので、もっといろんな人と仲良くなれるよう、あいさつなど自分から積極的に話しかけられるようになりたいです!

留辺蘂地区・瑞穂
えんどうあおい
遠藤 葵依さん
(2005年/平成17年
生まれ)



本格的にチーズ作りを

2016年からチーズ作りに興味を持ち、勉強しています。

今年は本格的にチーズ作りに取り組んでいきたいです。また、勉強も兼ねて夫婦でいろいろな場所に行ってみたいです。

温根湯地区・大和
いとうとしひろ
伊藤 俊弘さん
(1981年/昭和56年
生まれ)



仕事も趣味も

今年は3人の子ども全員が進学・就職する節目の年なので、子どもたちをサポートしたいです。また、趣味で習っているお琴の腕も磨きたいと考えていて、地道に練習を重ねています。

仕事の面では、昨年同様、牛が健康に育ってくれることを第一に考えて飼育管理していきたいです。

置戸地区・秋田
やまとやゆり
大和谷由理さん
(1969年/昭和44年
生まれ)



後先考えて仕事をする

今年は就農して6年目になり、その場で焦ることなく余裕を持って判断していき、後先考えて仕事をしていきたいです。

また長男も生まれたので、今後は家族のためにも頑張りたいです。

端野地区・協和
たかはしひでまさ
高橋 英雅さん
(1993年/平成5年
生まれ)



柔道を頑張りたい

柔道を週3日で練習しているので、継続し、大会で優勝できるように頑張りたいです。また、帯も今の茶色から黒帯を目指したいです。

今年は6年生になるので、みんなのお手本になれるように頑張りたいです。

上常呂地区・常川
よしだみずき
吉田 瑞季さん
(2005年/平成17年
生まれ)



餅チーズグラタン

415 kcal

トマトソースのグラタン。マカロニの代わりに餅を使います。とろ〜り溶けた餅とチーズが、トマトソースと相性抜群。



撮影：大井一範

■材料（4人分）

切り餅	4個
鶏もも肉	200g
ブロッコリー	1/2株(100g)
タマネギ	1/2個
ニンニク	1片(10g)
オリーブ油	大さじ2
トマト水煮缶詰	1缶(400g)
固形スープのもと	1/2個
白ワイン	大さじ2
ローリエ	1枚
塩	小さじ1/2
こしょう	少々
ピザ用チーズ	100g

■作り方

- (1) 切り餅は、半分に切る。
- (2) 鶏もも肉は、一口大に切る。
- (3) ブロッコリーは小房に分け、さっとゆでる。タマネギ、ニンニクはみじん切りにする。
- (4) 鍋にオリーブ油を熱し、(3)のタマネギ、ニンニクを弱火で4〜5分炒める。
- (5) (4)に(2)を入れる。肉の色が変わったらAを加え、トマトをつぶしながら約10分煮る。
- (6) グラタン皿に餅、ブロッコリーを入れ、(5)を掛け、チーズを載せる。
- (7) (6)をオーブントースターで10〜15分焼く。



撮影：松島均

餅の和風ピザ

355 kcal

餅生地の和風ピザ。もちもち、カリッとしたお餅の食感としょうゆの香ばしさが病みつきになります。おやつやおつまみにもお薦め。

■材料（1人分）

切り餅	2個
ちりめんじゃこ	大さじ1
万能ネギ	1〜2本
ピザ用チーズ	20g
しょうゆ	小さじ1
サラダ油	小さじ1/2

■作り方

- (1) 切り餅は半分の厚さに切る。万能ネギは小口切りにする。
- (2) フライパンにサラダ油を温め、(1)の餅を2個くっつけて並べる。弱火でふたをして約2分焼く。
- (3) (2)を裏返してしょうゆを塗り、ちりめんじゃ

こチーズを載せる。水大さじ1〜2(材料外)を加え、ふたをして1〜2分、チーズが溶けるまで蒸し焼きにする。

- (4) (3)を食べやすい大きさに切り、器に盛る。万能ネギを載せる。



お餅アレンジレシピ

お正月には家族、親戚でいただくことのお餅。アレンジしだいでさまざまな楽しみ方ができます。お餅を使った手軽でおいしい、おすすめのメニューをご紹介します。
【レシピ提供：ベターホームのお料理教室】



撮影：松島均

餅入りミネストローネ

371 kcal

具たくさんスープに餅をプラス。材料をカップに入れて電子レンジで温めるだけですから、忙しい朝にもぴったりです！市販のトマトジュースを使うため材料もシンプル。

■材料（1人分）

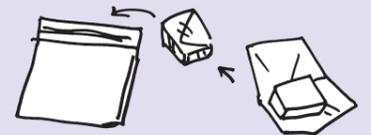
切り餅	1個
カブ	小1個(50g)
タマネギ	30g
ニンジン	30g
厚切りベーコン	1枚(50g)
A 水	50ml
A スープのもと	小さじ1/2
B トマトジュース(無塩)	100ml
B 塩・こしょう	各少々

■作り方

- (1) 切り餅は6等分する。
- (2) カブは茎を1〜2cm残して8等分に、タマネギは1cm角に、ニンジンは厚さ3mmのいちょう切りにする。ベーコンは1cm幅に切る。
- (3) 深めの器に(2)とAを入れ、ラップを掛けて電子レンジで約4分(500W)加熱する。
- (4) 全体を混ぜ、Bを加えて軽く混ぜる。餅を重ねないように入れ、再びラップを掛けて電子レンジで約3分(500W)加熱する。そのまま1分ほど蒸らす。

残った餅は？

真空パックの物は常温で商品の表示通りに保管しましょう。パックされていない切り餅は1切れずつラップに包んで保存袋に入れ、冷蔵庫で約1週間。それ以上保存する場合は冷凍しましょう。使うときは半解凍程度にして加熱調理します。



INFORMATION

手作り品でおもてなし

JAきたみらい女性部訓子府支部は12月3日、訓子府町公民館にて第18回収穫感謝祭を行い、訪れた240人の来場者に地元農産物をPRしました。

恒例の訓子府産馬鈴しょを使った、いもだんご入りおしるこ無料配布には、開場とともに行列ができて、何度もお替りに並び来場者もいました。

また、「お母さんの手作り品」と題し、女性部員が農作業の合間に作った手芸品・アイデア料理の展示コーナーを設け、47点の作品が並びました。出品された料理にはすべてに試食を用意。レシピなどが書かれた紹介文も添えられ、来場者からは「手作りのあたたかみを感じ、とても美味しかった。いろいろな料理のアイデアがあり、勉強になった」との感想があがりました。



▲無料配布のおしるこを受け取る来場者

乳牛の管理方法を学ぶ

JAきたみらい青年部置戸支部畜産部会は12月5日、置戸町内の(有)小山牧場で現地研修会を行い、部員9人が参加しました。

研修会では、同牧場の小山勇樹氏が現在の頭数や体細胞数、飼料作物の面積を説明し、乳牛の哺乳期管理の注意点や日頃心がけている取り組みを伝え、部員との意見交換を行いました。

また、オホーツクNOSAIの船越聡獣医師を招いて、乾乳牛を観察しながら管理方法を学びました。結城有一部会長は「他の酪農家の管理方法を学ぶことはとても勉強になる。また乳牛の体調管理はとても重要なことなので早速、実践していきたい」と話しました。



▲ボディコンディションスコアの判定を学ぶ部員



▲到着した種馬鈴しょの品質を確認するみなさん



▲県内各JAへ出荷を待つ種馬鈴しょ
▶担当者のJA全農神奈川 島村寿枝調査役

出荷先の声を聞く 訓子府町種子馬鈴薯耕作組合

訓子府町種子馬鈴薯耕作組合(古賀誠司組合長)は11月28日から30日の2泊3日の日程で神奈川県を中心に道外視察研修を行い10名が参加しました。

同耕作組合としては平成9年以来、19年ぶりとなる道外視察研修となり、前回から会員の世代交代が進んだことから、今回の研修では若い世代の会員たちが出荷先の府県で自ら生産した種馬鈴しょの販売実態の確認を目的として実施されました。

視察ではJAきたみらい産の種馬鈴しょ出荷先である「JA全農かながわ県本部」を訪れ、担当者の島村寿枝調査役をはじめ、同県本部生産資材課の皆さんと意見交換を行いました。

県内での道産種馬鈴しょ利用者の中心が第二種兼業農家ということで、一戸当たりの必要量も10kg段ボールが1個で足りてしまうことなど、北海道とは違う農業のスタイルに皆、驚いていました。

また、島村寿枝調査役からは「JAきたみらい産の種馬鈴しょは厳選出荷されており、産地の努力に感謝したい。今年は北海道も台風の被害に見舞われ、大きな苦労があったと思うが、今後も良品種馬鈴しょの安定供給をお願いします」と要望を受けました。

その後、実際にJAきたみらいから届いた種馬鈴しょの箱を開けて品質のチェックを行いJA全農かながわ県本部を後にしました。



ロバート・オウエン (1771~1858年)

イギリスの社会運動家。協同組合運動の父といわれる。

19世紀半ば、イギリスの労働者は低賃金による生活苦にあわせて、生活用品の高騰、さらに商品の品質や重量を偽って設ける悪徳商人が横行するなど劣悪な生活環境におかれていました。

こうした中、1844年、社会運動家ロバート・オウエンの考え方をもちに、イギリスのランカシャー州にあるロッヂデールという小都市で織物職人28名が1人1ポンドを出し合い、協同組合を設立することに成功しました。これが世界初の協同組合である「ロッヂデール公正先駆者

「連載」今こそJA! その意義と役割 ロッヂデール公正先駆者組合はなぜ生まれたか?

組合」です。その形態は現在の生活協同組合と同じものと言われていました。

この組合が成功した理由の一つとして、組合員が自ら出資を拠出して、必要なものを協同で調達して分け合う仕組みをとったことです。これは他人任せではなく、自らの暮らしを協同の力で守ることが根底にありました。

もう一つは、組合員が運営するためのわかりやすいルールを定めたことにあります。1、購買高による剰余金の分配、2、品質の純良、3、取引は市価で行う、4、現金取引、5、組合員の平等(一人一票制)、6、政治的・宗教的中立の原則、7、組合員の教育促進、などを運営原則として定めました。これは「ロッヂデール原則」と呼ばれ、その後いくつもの修正を経ながら今日の協同組合原則に受け継がれています。

ロッヂデール組合の設立から172年後の現在、協同組合は世界で組合員数が10億人を超える組織に成長したのです。

寒締めちぢみほうれん草 収穫最盛期!



▲最盛期を迎えた寒締めちぢみほうれん草の収穫

JAきたみらい管内では、寒締めちぢみほうれん草の収穫が最盛期を迎えました。今年は冷え込みが続き、ハウス内で冷氣から身を守ろうと、より葉が縮まり肉厚に育ちました。

訓子府町で寒締めちぢみほうれん草を約5.7畝を作付けする鍋嶋周滋さんは12月5日から収穫を開始。鍋嶋さんは同作物の栽培を始めて2年目で、9月17日に播種してから収穫までの天候を振り返り、「今年は日照不足、温度不足もあり、なかなか大きくなかった。それでも色乗りは良く、甘さや栄養は豊富になったと思う」と話しました。

当JAでは15戸が約1畝を作付け。地元スーパーや道内向けに12月末まで出荷が続きます。



INFORMATION

青年女性ネットワーク

青年女性ネットワーク



①：定植が終わった圃場を見学する参加者
②：胡蝶蘭栽培の説明を受ける参加者
③：購入した地元の農産物と一緒にパシャリ！
④：長崎平和記念公園の集合写真

JAきたみらい女性部は11月22日から25日までの3泊4日で九州農業視察研修を行い、部員49人が参加しました。同研修は農業パートナー・後継者研修の一環で海外及び国内農業について見聞を広めることを目的としており、女性部での開催は4回目。

佐賀県では、JAさが、杵島農業改良普及センターの担当者より干拓地を利用した玉ねぎ栽培について現地説明を受けました。干拓地は粘土質のため、機械の作業化が困難で、まだまだ手作業で栽培する生産者も多く、北海道との環境や栽培方法の違いを強く感じました。

次に訪問した福岡県糸島市では日本一の売り上げを誇る直売所「伊都菜彩」と富士通九州システムズと共同開発したシステムで胡蝶蘭を栽培する(有)日高農園を視察。「伊都菜彩」の大きな店内に広がる新鮮な地

元野菜や花卉、そして北海道では貴重な胡蝶蘭が敷きつめられている光景は圧巻、部員から一斉に驚嘆の声があがりました。

また同農園の経営は、農業と地元アスリートのハンドボールチーム「フレッサ福岡」と連携することで、農業労働力不足の解消、地域の活性化につながっており、実際に農作業に従事する選手も交え懇談する

九州の農業を学ぶ 女性部 九州農業視察研修

「フレッサ福岡」と連携することで、農業労働力不足の解消、地域の活性化につながっており、実際に農作業に従事する選手も交え懇談する

今回の視察研修の団長を務めた当女性部の武田志津子部長は「場所や方法は違っても頑張っている生産者がたくさんいることを知った。今後の営農の糧にした」と研修を振り返りました。

農薬推進事前講習会 青年部が農薬を学ぶ



▲講習会に参加する北見支部、端野支部の部員



▲講習会に参加する置戸支部の部員

JAきたみらい青年部北見支部、端野支部は、12月5日、センター事務所で青年部農薬推進事前講習会を合同で行い、51人の部員が参加しました。ホクレン生産資材課、ホクサン株式会社、北興化学工業株式会社から講師を招き農薬情勢や各種薬剤の説明を受けました。

新たに登録になった薬剤の登録内容や農薬の使用時の注意点、農薬を混ぜる際の水のpH値に応じた調整の必要性などを学び、部員からは活発に質問が出ました。

また、置戸支部は同月13日、西支部は14日、訓子府支部は16日に講習会を行いました。各部員が担当地区を推進し、1月25日(水)までに取りまとめ用紙の回収を行います。

より良い組織づくりに向けて 三組織合同意見交換会

JAきたみらい青年部・女性部・フレッサシステムズは11月30日、三組織合同で意見交換会を開き、役員21人が参加しました。

例年、三組織の連携と親睦を深める目的で視察研修を行っていましたが、今年は趣向を変えて意見交換会を実施しました。各組織の体制や活動、現在の課題について事務局より説明。その後、それぞれの組織の課題について意見交換を行いました。

フレッサシステムズ役員は「フレッサの加入には家族の後押しが必要」と話し、青年部役員は「妻がフレッサに加入することで青年部活動への理解も深まり、各組織に相乗効果がある」と組織活動に相互の連携が大きいと話しました。

終了後は懇親会が開かれ、家族のことや農作業のことなどの意見交換も盛んに行われました。フレッサシステムズの米森絵里香会長は「これから良き経営者・パートナーとなるよう、互いにもっと協力していきたい」と会を締めくくりました。

当JAでは農業後継者・パートナー



▲熱心に意見を交わす三組織の役員のみなさん

一組織の連携を図り、地域の発展やリーダー育成に向け、今後も意欲的な取り組みを促進していく予定です。

INFORMATION

12月号まちがいがしの当選者

12月号の「まちがいがし」の答えは「1、6、7、9、12」でした。正解者42名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

()内は地区名

- ・真野 朋子 さま (温根湯)
- ・高橋 美智子 さま (相 内)
- ・安達 伴子 さま (置 戸)
- ・前田 凜子 さま (訓子府)
- ・濱野 慎悟 さま (訓子府)
- ・兼安 美由紀 さま (訓子府)
- ・古瀬 拓海 さま (北 見)
- ・瀬野 則子 さま (北 見)
- ・木村 芳江 さま (上常呂)
- ・小川 みほ さま (端 野)

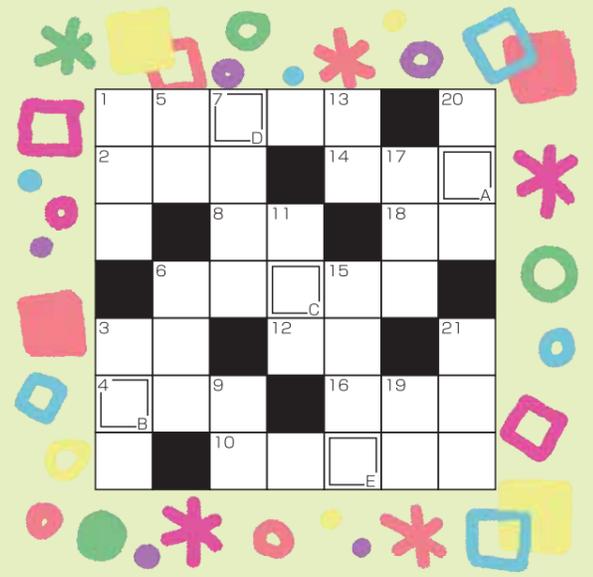
以上の方々には、JAきたみらいの「玉葱の塩だれ」「玉葱醤油」「オニオンコンソメ」をセットにしてプレゼント致します。

応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答えと広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。

抽選で10名の方に、A コープの商品券(2,000円分)をプレゼント致します。

クロスワードパズル



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

- ① タテのカギ
- ① ひょっとことよく対にされます
 - ③ 英語でいうとファミリー
 - ⑤ 凹がオウなら凸は
 - ⑥ 金剛力士のこと。あうんで一對
 - ⑦ このわたや酒盗(しゅうとう)もこの一種
 - ⑨ 大豆は畑の——といわれます
 - ⑩ 物は——と新製品を買ってみた
 - ⑬ 牛乳を温めると表面にできます
 - ⑮ 足の末端のこと
 - ⑰ 京都・祇園の宴席に花を添えます
 - ⑱ 一年の——は元旦にあり
 - ⑳ ダイコンや練り物、ゆで卵などをだして煮込んだ料理
- ② ヨコのカギ
- ① 子どもが楽しみにしている正月の臨時収入
 - ② 昆布と——節でだしを取った
 - ③ 親子や兄弟でそっくりな人も
 - ④ 正月に付きものの汁物
 - ⑥ 笑うと負けよ、あっぱっぴ
 - ⑧ がっかりしたときに落とします
 - ⑩ タイヤにつないでシュッシュ
 - ⑫ ポーターやストライプ
 - ⑭ 落ち葉をかき集める道具
 - ⑯ ノルウエーの画家、ムソクの代表的作品
 - ⑰ 忍者が指を組んで結ぶもの

コンプライアンス研修会を実施

JAきたみらいは12月3日、JAセンター事務所でコンプライアンス・メンタルヘルス研修会を行い、役職員290人が出席しました。

第一部では「反社会的勢力への対処方法」と題し、公益財団法人北海道暴力追放センター北見支局の千葉孝史支局長が有事の対応を説明しました。続く第二部では「こころの健康について」と題し、北海道農業団体健康保険組合の秋田朋香調査役が講演。座ったまま出来るストレッチから体の健康をチェックしたほか、生活習慣やストレス状況を見直しました。

閉会にあたり大坪広則専務は「心の健康は外見からでは分かりづらい。メンタルヘルス対策に組織として取り組み、働きやすい職場づくりに努めたい」と話しました。



▲千葉孝史支局長の説明を聞くJA役職員

年末年始の営業日程

月 日	曜日	センター地区事務所	資材店舗整備工場	金融窓口	ATM	給油所
12月28日	水	営業	営業	営業	営業	営業
29日	木	午前中営業	午前中営業	営業	営業	営業
30日	金	休業	休業	営業	営業	営業
31日	土	休業	休業	休業	休業	午前中営業
1月1日	日	休業	休業	休業	休業	休業
2日	月	休業	休業	休業	休業	休業
3日	火	休業	休業	休業	休業	休業
4日	水	休業	休業	営業	営業	営業 9:00~15:00
5日	木	休業	休業	営業	営業	営業
6日	金	午前中営業	午前中営業	営業	営業	営業

楽 しみに読んでいます。皆様の活動素晴らしいですね。がんばってくださいね！

(端野地区 小川 みほさん)

いつもご愛読頂きありがとうございます。組合員さんの活動を皆さんに知ってもらえるようこれからも発信していきますよ！

皆 様明けましておめでとうございます。今年はトリ年ですので、良い作物を沢山とりたいですね。アハハ！ 良い年でありますように!!

(置戸地区 仁木 義信さん)

トリは商売繁盛には縁起が良いそうです。2017年はトリ年にあやかって幸せな年にしましょう！

毎 日寒い日が続いていますが、どうか大雪になりませんように！

(上常呂地区 木村 芳江さん)

この時期は体調不良だけでなく、ケガも多くなってきました。道が滑りやすくなっているので、外出や除雪の際は注意してくださいね！

昨 年の我家の一字は災害の「災」です。8月の台風で川が氾濫し畑に流れ込み、作物は大打撃を受けました。今年は豊穡の秋を迎えられますように！

(北見地区 黒須 正幸さん)

2016年は皆さん、大変な事の多い年でした。2017年は皆さんにとって充実した年になると良いですね！

VOICE 読者の声

春の新車フェア

2017年1月1日~3月31日ご契約分まで

TOYOTA x SUZUKI x SUBARU x MITSUBISHI MOTORS の新車ご購入でもれなくプレゼント

軽トラ新車ご購入の方は スタッドレスタイヤ 4本(ホイール付き)をプレゼント!

さらに! ホクレン エンジンオイル プレゼント!

【お問合わせ先】 JAきたみらい 燃料自動車グループ 常呂郡訓子府町駒里44番地2 生産資材拠点センター (☎ 0157-47-2099)



【材料：2人分】
 柿1個
 キュウリ1本
 塩昆布少々
 塩小さじ1/2
 こしょう適量
 ごま油小さじ2

柿とキュウリのサラダ

【エネルギー約98kcal(1人分)】

【作り方】

- ①キュウリのへたを取り、まな板の上ですりこぎなどを使い、回しながら5～6回、キュウリがつぶれるくらいの力で叩き、手で割る。
- ②柿は皮をむき一口大に切る。
- ③ボウルに塩・こしょう・ごま油を合わせ、キュウリ・柿・塩昆布を加えて混ぜる。

メモ

フルーツの中でも栄養価が高い柿には、ビタミンCとβ-カロテンが多く、疲労回復・美肌・アンチエイジングなどに効果的です。味が染み込みやすいように軽くたたいて割ったキュウリと合わせれば、食感も抜群！塩昆布の量により、塩加減は調整しましょう。

おひさまサラダ COOKING

♥おいしいもの大好き!♥



【材料：3人分】
 マグロ約150g(1さく)
 シュンギク1束
 ネギ2本
 シタケ3枚
 マイタケ100g
 レンコン60g
 焼き豆腐1丁
 白たき1袋
 すき焼きのたれ適量
 ごま油少々
 卵3個

マグロのすき焼き

【エネルギー約328kcal(1人分)】

【作り方】

- ①マグロのさくは厚さ5mm程度の斜め薄切りにする。
- ②シュンギクは根元の堅い部分を切る。ネギは斜め切り、シタケは石突きを取り、十文字の切り込みを入れる。マイタケは食べやすい大きさに手で分ける。
- ③レンコンは薄切りにし、水にさらしてあくを抜く。焼き豆腐は10等分に切る。白たきは熱湯でさっとゆで、食べやすい長さに切る。
- ④熱したすき焼き鍋にごま油を薄く敷き、マグロとシュンギク以外の材料を並べてすき焼きのたれを加える。
- ⑤全体に火が通ったらマグロとシュンギクを加え、あまり煮過ぎないうちに卵を付けていただく。

メモ

マグロの赤身と季節の野菜で作る、おいしくてリーズナブルなすき焼きです。旬のレンコン・ネギ・きのこ・シュンギクなどをたっぷり入れましょう。マグロはサッと火を通せば完成。卵にくぐらせていただきます。

編集後記

- ・明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
- ・今年は酉年、特集では「年男」「年女」の方々に新年の抱負をお聞きしました。「とり」は「とりこむ」と言われ、商売などでは縁起の良い干支みたいですよ(^_^)
- ・2016年を振り返ると、プロ野球日本シリーズでは神っている広島カープを下して日本ハムが優勝しましたが、ちょっとだけ自分に似ている陽岱鋼がFAで巨人に移籍してしまい寂しいです(;-;)。
- ・ご愛読頂いた皆様には健康に留意され、災害がなく豊穡の秋を迎えられますことを心よりお祈り申し上げます。(土屋 正樹)

JAきたみらい概要

(平成28年12月15日現在)

- ・組合員数(正) 1,738人
- ・組合員数(准) 6,178人
- ・組合員戸数(正) 1,084戸
- ・貯金 108,759百万円
- ・貸出金 13,897百万円
- ・出資金 5,114百万円